

東日本大震災3周年行事「ACT for Japan」

(2014年3月9日)

3月9日、シアトル市内の University Temple United Methodist Church に
おいて、ワシントン州日米協会との共催により、東日本大震災3周年行事「ACT
for Japan」を開催しました。

本行事では、サム・シェパード当地日米協会会長をモデレータとして、サン
ディ・ドートン・シアトルタイムズ紙科学記者、チャック・アーネンソン・ピ
ースウィングズアメリカCEO、ピート・クヌートソン・ロキ・フィッシュ社創
設者（シアトル・セントラル・コミュニティカレッジ教授）、パッツィ・ヤマダ
当地福島県人会代表（グラハム・ヒル小学校教諭）によるパネルディスカッ
ションを通じて、東北地方の復興の現状と課題、食品の安全性、当地との協力関
係、ワシントン州が日本から学ぶべき防災への教訓について議論がなされまし
た。

パネリストからは、日本の食品に対する基準は大変厳しく市場に出回ってい
る日本産食品は安全であること、福島第一原子力発電所事故による海洋等への
影響については客観的なデータを参照することが重要であること、東日本大震
災の教訓は地震の多い当地でも活かすべきであり実際に日本の自治体との間で
防災に関する協力プログラムが開始されていること、被災地は引き続き多くの
課題を抱えているが日本のほとんどの地域はビジネス・観光・留学にオープン
であること、などが述べられました。



モデレーターとパネリスト

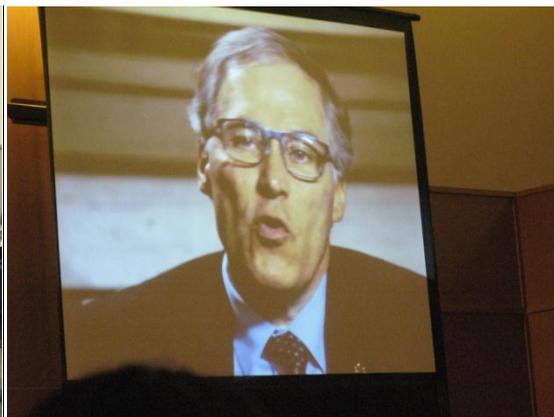


パネルディスカッションの様子

本行事には、エド・マレー・シアトル市長及びワシントン州政府代表者にもご出席いただくと共に、インズリー・ワシントン州知事及び佐藤雄平福島県知事からのメッセージも寄せられ、また、当地を代表する企業にもスポンサーとしてご協力いただき、参加者からは、日米友好関係において有意義であったとの感想が述べられました。



エド・マレー シアトル市長挨拶



ジェイ・インズリー知事からのビデオメッセージ